

授業概要

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。人文地理学においては、人間の諸活動の地域的分布や相互関係、生活様式などを考察していくことを目的としている。

授業ではまず地図に関する講義を行う。そのあとは国家の条件と国連の役割、世界の民族と人種について講義する。続いて、日本の人口統計、市町村、都市制度、余暇・休日に関する講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。地図帳を持参すること。

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス
第 2 回	地図の定義 (1) 地図とは何か
第 3 回	地図の定義 (2) 地図の種類と分類
第 4 回	地図の歴史 (1) 世界地図の発達と歴史
第 5 回	地図の歴史 (2) 世界地図の中の日本
第 6 回	世界の姿 (1) 国家の条件と国連の役割
第 7 回	世界の姿 (2) 世界の民族と人種
第 8 回	確認テスト：前半の確認と補足説明
第 9 回	現代日本の姿 (1) 地域統計と人口
第 10 回	現代日本の姿 (2) 日本の人口動態
第 11 回	現代日本の姿 (3) 日本の市町村
第 12 回	現代日本の姿 (4) 日本の都市制度
第 13 回	現代日本の姿 (5) 都市圏の広がりとう都市システム
第 14 回	現代日本の姿 (6) 余暇・休暇・休日
第 15 回	まとめ：授業のまとめと補足説明
第 16 回	期末試験

到達目標

地理学的な見方・考え方を学ぶとともに、一般常識としての「地理」の知識や教養を身に付けることを目的とする。また、地図を正しく読むことができるようになり、地域のことを正しく理解できるような素養を身に付ける。

履修上の注意

授業は講義を中心となるが、作業も行う。履修者の人数により、内容を変更する場合がある。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

地図帳を持参すること（二宮書店もしくは帝国書院が望ましい）。

予習・復習

日常的に新聞やニュースなどにより、地域の出来事に興味を払って欲しい。知らない地名や聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

定期試験（持込不可）：70%

平常点（リアクションペーパー・受講態度等）：30%

テキスト

プリントを配布する。